

その日を忘れません

忘れていけないのは、父母様の苦難の路程です。7月は父母様の苦難が多い月です。7月19日がヘリコプター事故であり、7月20日はダンベリーに入られた日です。2008年はお父様の年が89歳でした。年頭に今年は1年を越えるだけでも勝利だと語られました。その話を聞きながら、意味が分かりませんでした。神の日に日本から来た食口達を集うように指示され、お父様は、母の国日本が身ごもっている、その子供を産まなければならないのに今年は簡単ではありません。難産はあっても死産はいけないと語られました。そうしながら今年の意味を話して下さいました。これが解産路程の始まりでした。

そしてその苦難の路程がわかる事件が起きたのです。3月17日孝進様の聖和、7月19日は父母様の命を狙う事故が起きたのです。これは84年においても同じでした。まず、興進様が事故で亡くなり、そのあとにお父様がダンベリーに入られました。親子共の苦難の道だったのです。サタンの狙いは親子なのです。今は、目標を一つにしなければ、和合することができないのです。そのみ旨を喜んで元気にやっているのか。それを親は見たいのです。元気という事は私の心の中に父母様が生きているという事です。生きているという事は父母様にお会いしたいという恋しさです。これが生きている信仰者ですし、元気な食口です。主体者を恋しく思う心が元気な証拠であります。その心が生きていけば、どんな試練があっても乗り越えることが出来るのです。試練が問題ではなく、心に恋しさがなくなっていることが問題なのです。そして、子供が成長して発展している姿をみたいのが親なのです。親の事を考えず、自分たちが元気になるという事はないのです。自分の子供を考えている食口がいれば、まず親の事を考えないといけないのです。

最高精誠は伝道です。大会と一緒にいける人を一人、今から考えていきたいのです。こうなれば変わっていきます。ヘリコプターの事故を通して、我々には神様が共にしている教会であると確認できました。神様は父母様だけではなく我々にも共にいらっしゃいます。我々の家庭に神様が共にいらっしゃるのです。それを信じて皆様の祈りが成就されるように願います。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、真の父母様聖和一周年記念 100 日精誠祈禱会
期間：陽5.16～陽8.23 朝の9:30の出発式と17:00に祈禱会
(毎週金曜日と日曜日は17:00祈禱会は行いません)
場所：浦和教会
- 3、2013年伝道勝利のための「第3次50日路程」
路程期間：2013年7月2日(火)～8月20日(火)(50日間)
①「祝福式」の開催②「2日修練会」の開催 ③「礼拝」の活性化
④「十一條献金」の推進⑤「聖和1周年追慕礼拝」への新規動員
- 4、真のお父様聖和1周年東埼玉教区訪韓ツアー
期間：8月21日～23日
参加人数：東埼玉教区82名(浦和教会38名)
- 5、天一国經典天聖經、平和経日本語出版記念式
日時：8月24日午前 8:00～11:00 頃まで
場所：天正宮博物館2F
- 6、幸せセミナー
日時：7月30日(火)
場所：浦和サロン
- 7、東埼玉教区8月度出発式
日時：8月2日(金)10:30～
場所：浦和教会
※出発式後は責任者会議を行います。
- 8、天一国フェスティバル大会準備委員会
①日時：8月9日(金)15:00～
②日時：8月16日(金)15:00～
参加対象：牧会者、関係スタッフ
- 9、伝道三日路程
期間：8月6日(火)～8日(木)
- 10、夏休み特別企画!!親子サマーセミナー (通い2day)
日時：8月10日(土)～11日(日)AM10:00～18:00予定
講師：田川 敏部長
会場：岩槻東ロコミュニティセンター多目的ルームC
会費：大人3,000円 高校生以下2,000円
参加：親子(父母、中学生以上)
- 11、次回の『天一国フェスティバル』のご案内
日時：8月18日(日)13:30開演
場所：埼玉会館大ホール

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代 天 基 年
地 基 年
人 基 年

天地人真の父母勝利解放完成時代



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長：李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：李炯燮教区長

司会者：田川 敏教育部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 天一国の歌	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	白石晴美
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	成熟した信仰	
※讃 頌 聖歌 20番	全 体
※祝 禱	教区長
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

さあ、ヨセフをイシュマエル人に売ろう。われわれが彼に手をかけてはならない。彼はわれわれの肉親の弟だから。」兄弟たちは彼の言うことを聞き入れた。

そのとき、ミデヤン人の商人が通りかかった。それで彼らはヨセフを穴から引き上げ、ヨセフを銀二十枚でイシュマエル人に売った。イシュマエル人はヨセフをエジプトへ連れて行った。

さて、ルベンが穴のところに帰って来ると、なんと、ヨセフは穴の中にいなかった。彼は自分の着物を引き裂き、兄弟たちのところに戻って、言った。「あの子がない。ああ、私はどこへ行ったらよいのか。」彼らはヨセフの長服を取り、雄やぎをほふって、その血に、その長服を浸した。

彼らはヨセフの長服を父のところに持って行き、彼らは、「これを私たちが見つけました。どうか、あなたの子の長服であるかどうか、お調べになってください」と言った。父は、それを調べて、言った。「これはわが子の長服だ。悪い獣にやられたのだ。ヨセフはかみ裂かれたのだ。」

ヤコブは自分の着物を引き裂き、荒布を腰にまとい、幾日もの間、その子のために泣き悲しんだ。彼の息子、娘たちがみな、来て、父を慰めたが、彼は慰められることを拒み、「私は、泣き悲しみながら、よみにいるわが子のところに下って行きたい」と言った。こうして父は、その子のために泣いた。あのミデヤン人はエジプトで、パロの廷臣、その侍従長ポティファルにヨセフを売った。

創世記 37章 27節

統一運動

天地人真の父母天正宮入宮戴冠7周年記念式

天地人真の父母天正宮入宮戴冠7周年記念式が天一国元年天曆6月13日(陽7. 20)土曜日の午前5時天正宮2階礼拝堂で元老、機関企業長、公職者400人余りが参加する中で行われた。

梁総会長は、この行事の前に『天宙の父母であられる神様と天地人父母であられる真の父母様が一体となられ天宙平和の王として実体的な体をもって直接、天上と地上で主権を統治するようになった歴史的な日である天正宮入内戴冠式の7周年を迎えた』とし、入宮戴冠式7周年の意義について説明した。

真の父母様の御言葉で『摂理歴史が終わり、また新たな出発をすることになる、天一国時代にあって、私たちは覚悟と決意をなして、天の前に、希望に対して恩返しを成していくことができなければならない』と、『現在の自己の置かれた立場で環境を造成していくこと』を表明された。また、真のお母様は『異民族を通して、韓国が神が望んでおられる神様の祖国・世界の中心国としてそびえ立つ機会がいつもあるわけではない。祝福2世、3世として天の前に感謝して恩返しする人生を生きていくために我々の環境をより大きく広げていかなければならない』と祝福2世、3世のための教育と支援について述べられた。

